

博学連携企画 公開シンポジウム

鯨類のストランディング

—大学・博物館・水族館との連携による調査とその意義

2025年

2月22日（土）

13:00～16:40（12:30受付開始）

場所：三重県総合博物館（MieMu）
3階レクチャールーム

参加費無料

定員：50名（応募者多数の場合は抽選）

<第1部>基調講演

「海の哺乳類からのメッセージ」

国立科学博物館・田島 木綿子

<第2部>伊勢湾・三河湾ストランディングネットワークの紹介

「ストランディングネットワークの取組と

鯨類のストランディングの現状」

三重大学鯨類研究センター・神田 育子

「ストランディングサンプルを使った鯨類の食性研究」

四日市大学・古山 歩

<第3部>ネットワーク参画機関による事例紹介

三重県総合博物館・北村 淳一

豊橋市自然史博物館・安井 謙介

鳥羽水族館・若林 郁夫

名古屋港水族館・小林 清重

南知多ビーチランド・二見 健人

人間環境大学・西田 美紀

主催：三重大学鯨類研究センター

共催：三重県総合博物館（MieMu）

三重大学博学連携推進室

後援：三重大学大学院生物資源学研究科



参加申込フォーム

<https://x.gd/dH6f8>

申込締切：2025年1月31日（金）



鯨類のストランディングー大学・博物館・水族館との連携による調査とその意義

ストランディングとは、海棲哺乳類が本来の生息域からはなれ、海岸に乗り上げ身動きがとれなくなったり（座礁・漂着）、河川や港湾などに迷い込んでしまったり（迷入）する現象をいいます。三重・愛知の両県では、年間平均100件ほど鯨類のストランディングがあり、伊勢湾・三河湾ストランディングネットワークがその対応にあたっています。本ネットワークには、大学、研究機関、博物館、水族館、行政機関を含む15の機関が参画し、情報交換をしながら、本海域で座礁・漂着した鯨類の調査やデータ・標本の収集・蓄積をこれまで行ってきました。本シンポジウムでは、地域住民の皆様に向け、ネットワークのさまざまな取組を紹介します。

日時：2025年2月22日（土）13:00～16:40

場所：三重県総合博物館（MieMu）3階レクチャールーム

プログラム

- 12:30 受付開始
- 13:00 開会挨拶・趣旨説明（三重県総合博物館館長・守屋 和幸）
- 13:05 <第1部>基調講演（座長：三重大学鯨類研究センター副センター長・森阪 匡通）
「海の哺乳類からのメッセージ」
国立科学博物館・田島 木綿子
- 13:50 <第2部>伊勢湾・三河湾ストランディングネットワークの紹介
「ストランディングネットワークの取組と鯨類のストランディングの現状」
三重大学鯨類研究センター・神田 育子
「ストランディングサンプルを使った鯨類の食性研究」
四日市大学・古山 歩
- 14:30 休憩
- 14:45 <第3部>ネットワーク参画機関による事例紹介
三重県総合博物館・北村 淳一
豊橋市自然史博物館・安井 謙介
鳥羽水族館・若林 郁夫
名古屋港水族館・小林 清重
南知多ビーチランド・二見 健人
人間環境大学・西田 美紀
- 16:00 総合討論（コーディネーター：元鳥羽水族館館長・古田 正美）
閉会挨拶（三重大学理事・吉岡 基）

プログラムの変更等、シンポジウムに関する最新情報は下記ホームページでお知らせします。



鯨類研究センターHP
<https://geirui.mie-u.ac.jp>

<お問い合わせ>

三重大学鯨類研究センター・スナメリ事務局

E-mail: crc.sunameri@gmail.com

電話：059-231-9908